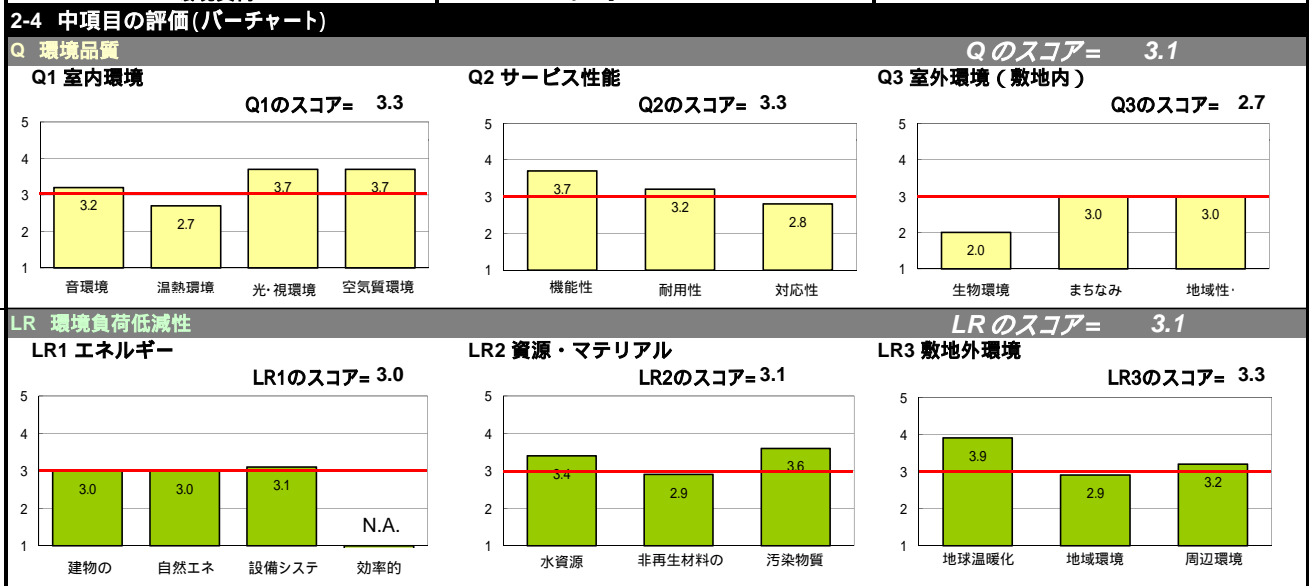
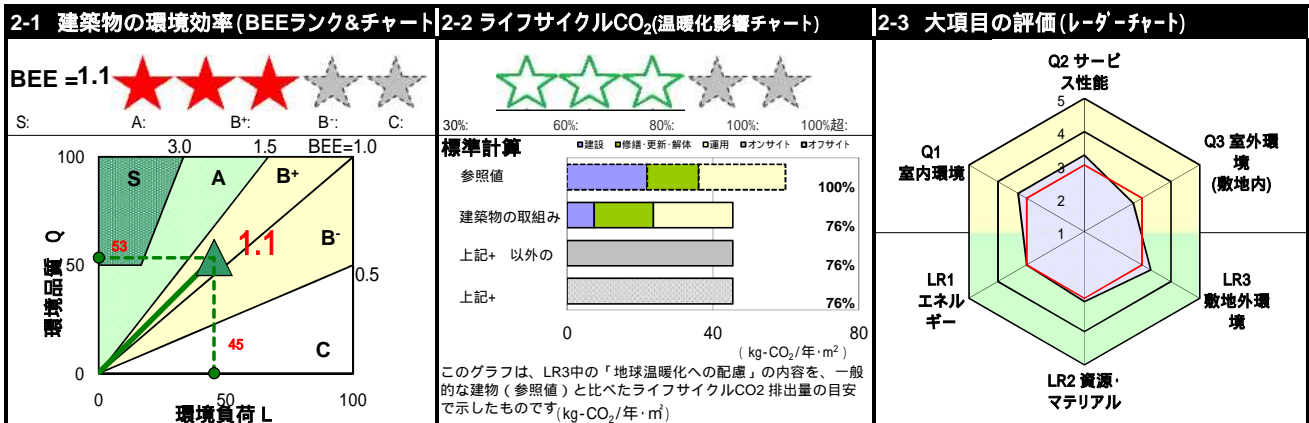


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎本宿町マンション	階数	地上6F
建設地	茅ヶ崎市本宿町3470-10他4筆	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年4月25日
敷地面積	1,540 m ²	作成者	(株) ビゾン建築設計事務所
建築面積	808 m ²	確認日	2014年4月25日
延床面積	3,541 m ²	確認者	(株) ビゾン建築設計事務所

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
良好な住環境の創造を目指す中、環境負荷低減・エネルギーの削減を考慮した様々な取り組みを可能な限り行う。		
Q1 室内環境 住戸の開口部には高断熱仕様のサッシを採用し、熱負荷の低減に配慮した。	Q2 サービス性能 躯体は品確法における劣化対策等級3相当し、設備配管に耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) まとまった緑地帯を確保することで生物育成に配慮した。雨水は敷地内浸透を基本とし、ヒートアイランドの軽減に配慮した。
LR1 エネルギー 共用部に使用する照明器具の大半はLED照明を採用、キッチンの水栓には節水コマ付きを採用する等エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用し、環境に配慮した。	LR3 敷地外環境 建物を極力南側に配置する事で、近隣への日影の及ぶ範囲を低減させる配慮をした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される